

- ・京浜急行バス株式会社は、コロナ禍からの早期回復と持続的な成長に向け、需要動向の変化を的確に把握し、また自らが需要を喚起することで経営改善を進める必要があります。
- ・決済手段の多様化及び空港リムジンバス予約システムのWEB化により観光需要の利用者層を取り込むとともに、路線沿線に不動産を取得しバス運行設備を整備することによって、新たな需要の開拓や潜在需要の獲得に取り組みます。限られた輸送資源のもとでこうした需要に応えるため、営業所を再編・集約して乗務員や車両を輸送需要が見込める路線に効率的な配置を行います。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

令和4年（2022年）7月～
令和9年（2027年）3月

2. 生産性向上目標、新需要開拓目標

計画終了年度のROAが基準年度のROAを5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

計画終了年度の新規開設路線等の売上高が全体の売上高の1%以上となることを目標とする。

4. 支援措置

税制措置（繰越欠損金控除上限の特例）

<事業適応計画のイメージ>

今後見込まれる需要の取り込み

インバウンド等多様な利用者への対応として決済・予約手段の多様化等

効果的な設備整備・経営資源の効率化

営業所再編・集約に伴う営業所施設の整備等

新たな需要の開拓・潜在需要の獲得

沿線に取得した不動産においてバスターミナル等を整備

将来にわたる持続的発展と企業価値向上に努める

